

Monthly Times (H28.5月号)

☆創造・自律・共生★有田中央高等学校★

球技大会実施 熱戦が続出！

5月26日(木)、天候が危ぶまれる中、球技大会が実施されました。女子はドッジボール、男子はソフトボールをクラス対抗で行いました。よくまとまったクラスが多く、最後まであきらめない白熱した試合が続きました。

また、応援マナーや集合等も良く、生徒が学校行事に取り組む姿勢や意欲が年々向上していることを強く感じます。ソフトボール3年の部では職員チーム(男子)が2回



戦で惜敗しました。バレーボール3年の部でも職員チーム(女子)が2回戦で完敗しました。「生徒が一丸となってプレーしているの



ので、こちらも必死でプレーしました。」という先生方の感想が目立ちました。

新年度が始まり約2ヶ月、当初のあわただしさから落ち着きを取り戻しつつあります。生徒の皆さんには、球技大会を機に、学校生活をより充実したものとするために頑張ってもらいたいものです。

野球部29年振り春季近畿大会出場！

本校野球部は4～5月中旬まで開催された春季県予選で3位となり、昭和62年以来29年振りに春季近畿大会へコマを進めた。野球部は現在、地元有田郡市の生徒が多く在籍し、3年生8名、2年生7名、1年生6名、マネージャー1名の計22名で構成されており、上位から下位打線まで切れ目のない打線で1回戦から猛打を繰り広げた。準々決勝の田辺工業高校戦では7対0(8回コールド)で圧勝し15年振りに夏の大会のシード権を獲得した。準決勝で紀央館高校に敗れたが、3位決定戦で強豪・日高中津分校に熱戦の末、5対4で勝利し近畿大会への切符を手にした。主将の田中千也君は「3位決定戦では先のことには気にせず、1勝すること集中しチームワークを発揮して勝つことができました。近畿大会はどんな試合展開になるかわかりません。相手は格上のチームですが、1試合を大切に自分達の力を出し切って勝ちたい。」と語ってくれました。



井原監督は「部員数が少ないところからスタートし、多くの方々の支えがあって、一つ結果が出ました。近畿大会は、厳しい試合になると思うので、どれだけ粘れるのかがポイントです。苦しい時代を乗り越えてきた指導者の方々や選手達の分まで頑張りたい。」と述べてくれました。

恒例の「溝掃除」大勢の生徒が頑張る！



5月2日(月)午後、恒例の学校周辺の清掃活動(有田中央クリーン運動)を行い209名の有志生徒が参加しました。かつては、地域の清掃活動として教員が中心となり参加していましたが、地域の方々に学校を挙げて感謝の気持ちを表そうと、6年前から有志生徒の参加を呼びかけているものです。

最初、生徒は中庭に集合し、庄田校長が「地域の清掃をすることの大変さを知るとともにこの活動を自分の成長につなげて欲しい」と話し、川口遼平生徒会長の「頑張るぞ！」のかけ声で清掃が始まりました。

初夏の暑い日差しの中、生徒は長靴や手袋を身につけ、汗をかきながら励みました。

清掃後、すっかりきれいになった風景を前に、達成感に溢れた生徒の表情が印象的でした。

